

EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 02057564
PUBLICATION DATE : 27-02-90

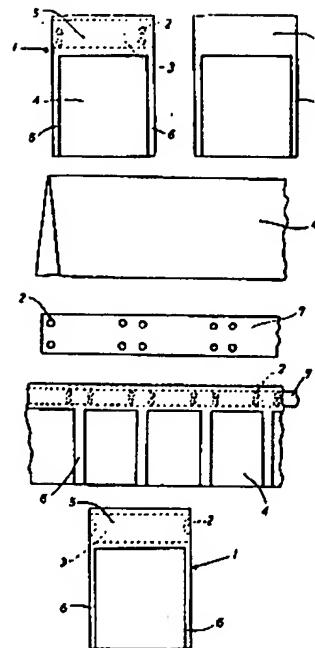
APPLICATION DATE : 18-08-88
APPLICATION NUMBER : 63205851

APPLICANT : SANWA KASEI KK;

INVENTOR : SHIMIZU HIROSHI;

INT.CL. : B65D 33/14 B31B 1/60 B31B 1/88
B31B 23/14

TITLE : PACKAGING BAG AND
MANUFACTURE THEREOF



ABSTRACT : PURPOSE: To prevent the upper printed part from being folded or curled and the print on the front or rear side from being seen through, by holding a label having at least one heat-seal part inside a fold of a double folded synthetic resin film and by heat-sealing the upper printed part holding said label and the seal part at both sides.

CONSTITUTION: This packaging bag 1 holds a label 3 having four holes as four heat-seal parts 2 inside a fold of a synthetic resin film 4 double folded, which is heat-sealed at the upper printed part 5 holding the label and also at the seal part 6 at both sides to hold the label within the film by means of the heat-seal part. For the production thereof, at first, the synthetic resin film 4 is folded double in the longitudinal direction along the middle thereof. A longitudinally long label 7 having at least one heat-seal part every unit of a bag width is held inside the fold and then heat-sealed at the upper printed part 5 and the seal part 6 at both sides. Finally it is cut off at the middle of the both sealed parts.

COPYRIGHT: (C)1990,JPO&Japio

This Page Blank (uspto)

⑩ 日本国特許庁 (JP) ⑪ 特許出願公開
⑫ 公開特許公報 (A) 平2-57564

⑬ Int. Cl.

B 65 D 33/14
B 31 B 1/60
1/88
23/14

識別記号

Z
3 2 1
3 2 1

庁内整理番号

6833-3E
8818-3E
8818-3E
8921-3E

⑭ 公開 平成2年(1990)2月27日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

⑮ 発明の名称 包装用袋及びその製造方法

⑯ 特願 昭63-205851
⑰ 出願 昭63(1988)8月18日

⑱ 発明者 福沢 良一 東京都目黒区目黒本町5-18-9
⑲ 発明者 清水 啓 神奈川県鎌倉市今泉台6-14-14
⑳ 出願人 大倉工業株式会社 香川県丸亀市中津町1515番地
㉑ 出願人 三和化成株式会社 神奈川県横浜市南区永田東3-8-14

明細書

1. 発明の名称

包装用袋及びその製造方法

2. 特許請求の範囲

1. 二つ折りされた合成樹脂フィルム(4)の折り目部内に少なくとも1つの熱融着部(2)が設けられたラベル(3)を挟持し、該ラベルを挟持した上部印刷部(5)及び両側シール部(6)を熱融着してなる包装用袋。

2. 長尺な合成樹脂フィルム(4)を長さ方向に中央に沿って二つ折りし、袋の幅を単位とする単位毎に少なくとも一つの熱融着部が設けられた長尺なラベル材(7)を折り目部内側に挟持し、該ラベル材を挟持した上部印刷部(5)及び両側シール部(6)を熱融着し、前記両側シール部の中央を切断することを特徴とする包装用袋の製造方法。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は食品、雑貨等の生活用品を包装してス

パー等で展示、販売する包装用袋及びその製造方法に関するものである。

[従来の技術]

従来の上部に印刷部を有する包装用袋は、ポリエチレン、ポリプロピレンなどの合成樹脂を素材とする単体の長尺なフィルム或はこの単体フィルムにナイロン、ポリエステルフィルムなどをラミネートした複合フィルムを二つ折りし、該フィルムの折り目部分に表示内容を直接印刷し、印刷部及び袋の両側シール部を熱融着し両側シール部の中央を切断して得られるものであった。

[発明が解決しようとする課題]

上記従来の包装用袋(第6図)は、上部印刷部の表側又は裏側の印刷内容が、該印刷部が透明なため互いに透けて見えるという欠点があった。又、該印刷部の角が折れたり、カールする等変形が起こりやすく商品価値を損なうという欠点があった。

これに対し、本発明は上記欠点を解決した包装用袋及びその製造方法を提供するものである。

[課題を解決するための手段]

特開平2-57564 (2)

本発明は、上記課題の解決のため二つ折りされた合成樹脂フィルムの折り目部の内側に少なくとも一つの熱融着部を有するラベルを挟持し、該ラベルを挟持した上部印刷部及び両側シール部を熱融着せるものである。

【実施例】

以下本発明の一実施例を示す図面に基づいて説明する。

第1図は本発明に係る包装用袋1の平面図であり、二つ折りされた合成樹脂フィルム4の折り目部の内側に四つの熱融着部2として四つの孔を穿設したラベル3を挟持し、該ラベルを挟持した上部印刷部(5)及び両側シール部6を熱融着させ、該ラベルの熱融着部を通して前記二つ折りされたフィルムが熱融着して該ラベルをフィルム内に保持するものである。

次に本発明の包装用袋の製造方法について述べると、先ず第2図に示す長尺な合成樹脂フィルム(4)の中央に沿って長さ方向に二つ折りし、袋の幅を単位とする単位毎に少なくとも一つの熱融

該ラベルに設けられた熱融着部を通して表裏二面の合成樹脂フィルムが熱融着して前記ラベルを保持するので上部印刷部が折れたりカールすることがない。又裏側或は裏側の印刷が互いに透けて見えることもないものである。

更に、ラベル材として形状記憶物質を用いた場合は希望する形状の上部印刷部を有する包装用袋が常に得られるのでディスプレイ効果が向上するものである。

又、本発明の包装用袋の製造方法は、上記のような優れた効果を有する包装用袋を簡めて簡単に製造することができるものである。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明に係る包装用袋の正面図、第2図は二つ折りした長尺な合成樹脂フィルムの斜視図、第3図は熱融着部を設けた長尺なラベル材の正面図、第4図は長尺なラベル材を二つ折りした長尺な合成樹脂フィルムに挟持し、上部印刷部及び両側シール部を熱融着したもの正面図、第5図は他の形状の熱融着部が設けられた長尺なラベ

ル部を設けた長尺なラベル材(7)(第3図)を折り目部の内側に挟持し、該ラベルを挟持した上部印刷部(5)及び両側シール部(6)を熱融着し(第4図)、該両側シール部の中央を切断するものである。

第5図は他の形状の熱融着部(2)設けたラベル(3)を挟持した包装用袋を示すものである。該熱融着部の形状、個数は包装用袋の大きさ形状などにより、適宜決定されるものである。

又、ラベルの材質は膜が強く遮蔽性に優れた紙、アルミ箔、着色されたポリエチレンフィルムなどが好ましい。その他金属或は合成樹脂の薄葉の形状記憶物質をラベルとして使用することもできる。

上部印刷部の表示内容は二つ折りされる合成樹脂フィルムの内側の所定位置に印刷されてもよく、ラベル材に印刷してもよい。

【発明の効果】

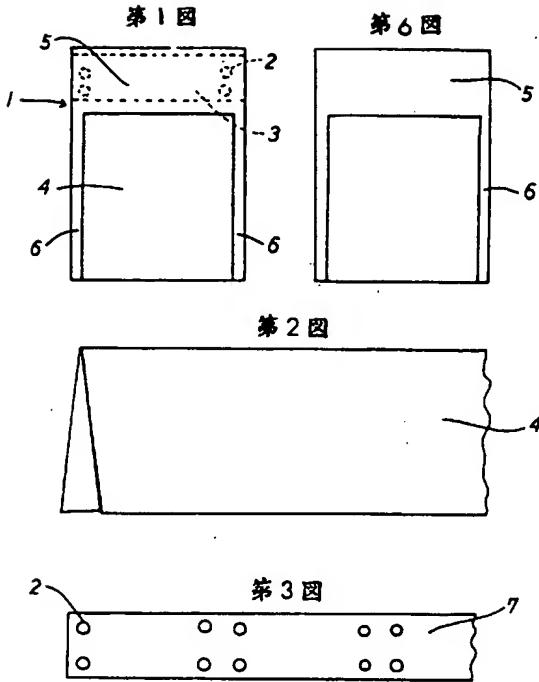
以上述べた如く本発明の包装用袋は、袋を構成する合成樹脂フィルムとは材質の異なる膜の強い、遮蔽性に優れたラベルが上部印刷部に挟持され、

ル材が挟持された包装用袋の正面図、第6図は従来の包装用袋の正面図である。

- 1・・・包装用袋
- 2・・・熱融着部
- 3・・・ラベル
- 4・・・合成樹脂フィルム
- 5・・・上部印刷部
- 6・・・両側シール部
- 7・・・ラベル材

特許出願人
大倉工業株式会社
代表取締役 久米志明

三和化成株式会社
代表取締役 清水啓



This Page Blank (uspto)